

「統合的マルチオミクス解析による神経筋変性疾患の病態解明」 に関する情報公開

当センターでは、東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方を対象に下記の共同研究を実施します。

本研究への協力を望まれない場合、あるいは研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ担当者までご連絡ください。

●研究の名称

統合的マルチオミクス解析による神経筋変性疾患の病態解明

●研究責任者

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

●研究の対象

2001 年 7 月～2022 年 9 月に東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方の内、病理診断により以下の疾患と診断された方および顕著な神経疾患なしと診断された方。

アルツハイマー病、パーキンソン病、多系統萎縮症、進行性核上性麻、皮質基底核変性症、筋萎縮性側索硬化症、前頭側頭型認知症、脊髄小脳変性症、核内封入体病

●研究の期間

倫理委員会承認後から 2027 年 3 月まで

●研究の目的と概要

神経筋変性疾患の多くは原因が不明であり発症メカニズムの解明が重要な課題とされています。本研究は、疾患およびコントロール症例の剖検組織を用いて色々な側面からオミクス解析を行い、その結果を統合して考察することにより、神経筋変性疾患の発症に関与している病態の全体像を明らかにすることを目的としています。さらに、得られた結果をもとに剖検組織を解析し機能的意義を明らかにすることで、病態に基づいた治療法開発に貢献します。

●研究の方法

疾患脳の核酸やタンパク質、代謝産物の探索的な網羅的解析を行い、得られた結果を統合的に解析します。その結果を剖検脳由来の凍結組織やパラフィン切片を用いて検証をすることで得られた結果の機能的意義を明らかにします。

●研究に使用する試料・情報

対象とする疾患及びコントロールの脳神経組織の凍結組織、ホルマリン固定パラフィン包埋切片、および 付随する臨床情報、病理情報

●研究組織

国立精神・神経医療研究センター
新潟大学脳研究所
東京大学医学部附属病院
東京大学大学院薬学系研究科
大阪大学大学院医学系研究科
東京都健康長寿医療センター

間野達雄
宮下哲典
石浦浩之
富田泰輔
岡田随象
齊藤祐子
村山繁雄
森島真帆

●お問い合わせへの対応

本研究に関するご質問や資料閲覧のご希望は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究計画書や研究方法に関する資料については、ご遺族の希望に応じて、他の研究対象者や研究者に不利益が及ばない範囲内で、ご覧になることができます。また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはございません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

●問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

高齢者ブレインバンク/神経病理 齊藤祐子（研究責任者）

電話 03-3964-3241 内線 4419（平日 9:00~17:00）